

小代焼
中平窯



力強い意匠と柔らかな色合いを調和させて
素朴で美しい小代焼。その魅力と伝統を守りながら、多くの方々に楽しみながら使っていただけるような、生活に根ざした器を作り続けています。小代粘土を用いた独特のうわぐすりと、ワラ灰、木灰釉との調和の施釉により、力強くも柔らかな色合いを出しています。

西川 謙生

小代焼 中平窯 熊本県荒尾市権字中平1192
TEL.0968-68-7326 FAX.0968-68-7326



小代
瑞穂窯



独自の焼成法で焼き上げる暮らしに生きるうつわ
伝統とは、灰を守るのではなく、膜(おき)を密かに保ち続けることである。時代によって代わる器の形態を、いかに現代の生活に生かし、提案していただけるかを模索中、基本をふまえながら、100年後に伝統となっていれば、嬉しいかも。

福田 るい

小代焼 瑞穂窯 熊本県荒尾市上平山字庄山914
TEL.0968-68-2380 FAX.0968-68-2922



小代本谷
ちひろ窯



ふだん使いの器に小代の心を
使って、持って、手になじみ、食器を中心とするふだん使いの物を主に作成。生活の中に潤いを持てるような魅力ある器づくりを心掛けています。伝統に甘えることなく、古い物、新しい物を織り交ぜながら、自分の目指す小代に一步ずつ近づけて行きたいと思っています。

前野 智博

小代本谷 ちひろ窯 熊本県荒尾市川登2131-74
TEL.0968-68-6459 FAX.0968-68-6459



小代焼
岱平窯



独自の割竹式登り窯が生み出す自然の美
1970年初代岱平が古小代発祥の地に思いを寄せて開窯しました。四季の彩りが美しい岱山の里で、小岱山の鉄分の多い胎土に、熊笹、ワラ灰を原料とした自然の釉薬を使っています。独自の「割竹式登り窯」で、素材で力感あふれる作品、土の温もりが漂う作風を継承し、創造できるよう親子で日々努力を重ねています。

坂井 博樹

小代焼 岱平窯 熊本県玉名郡南関町宮尾470
TEL.0968-53-9245 (自宅)TEL.FAX.0968-53-8048



松風焼
野田窯



伝統の古松風の息吹を現代に
松風焼野田窯は、嘉永年間、小代焼鶴城窯で学んだ野田廣吉により玉名郡南関町堀池園苑に登り窯を開いたのが始まりです。松風焼は代々継承されましたが、昭和12年に開窯となりました。昭和56年より窯の再興を志向し、先代が残してくれた文献・作品をたよりに古松風焼に迫る作品づくりに努力したいと思っています。

野田 義昭

松風焼 野田窯 熊本県玉名郡南関町関町1566
TEL.0968-53-1531 FAX.0968-53-1531



小代焼
一先窯



地元の土、窯にこだわり、暮らしに根づく作品を
400年の伝統がある小代焼に誇りを持ち、主原料である地元の土や、地元の窯(わら)を自家で精製したものを使用しています。18年間の各地での修業を糧にし、現代の暮らしに根付いた作品、器づくりに取り組んでいます。

山口 耕三

小代焼 一先窯 熊本県玉名郡長洲町葛輪
TEL.0968-78-5631 FAX.0968-78-5631



小代焼
たけみや窯



器… それも存在感がある…
素朴ながら、つい手を伸ばしたくなるような存在感のある器。美しく使い勝手の良い器を一品一品真心込めて造っています。絶えかけた小代焼を現代まで存続させた健軍(たけみや)窯 初代・近重治太郎のめざしたものを、またその思い、心を作品にうつし、今の世に伝えていけるよう願っています。

近重 眞二

小代焼 たけみや窯 熊本県上益城郡豊島町北甘木222番地
TEL.096-285-7583 FAX.096-285-7564



小代焼
松橋窯



伝統の魅力を現在の暮らしに映して
素朴で力強い作り的小代焼は茶器や食器に使われ、愛されてきました。白小代、黄小代と呼ばれる釉薬で変化する色味の美しさが魅力です。魅力と伝統ある小代焼の特徴を守りながら、毎日の生活に楽しく使ってもらえる作品を作り続けています。

長木 賢

小代焼 松橋窯 熊本県宇城市松橋町松橋661-1
TEL.0964-33-3168 FAX.0964-33-3168





普段の生活の中で使うことで、本当の価値を感じていただきたい



あくまでも暮らしの中の器であること

小代焼
ふもと窯



暮らしの中に輝く本物の美しさを求めて

小代焼400年の伝統を守るべく、六袋の身り窯で作品を焼き続けています。燃料には松薪、釉薬となる灰は木、土と自然のものを使用。「小代焼の伝統を現代の暮らしに調和させ、暮らしの中に光り輝くものを」をモットーに日々作陶に励んでいます。

井上 泰秋・尚之

小代焼 ふもと窯 熊本県荒尾市府本字古畑1728-1
TEL.0968-68-0456 FAX.0968-68-4476

小代焼
しろ平窯



先人の陶情を現代に伝える

昭和21年(1946年)に初代の城島平次郎は、一度途絶えた小代焼きを、戦後研究所として窯を再興しました。二代・英一郎は初代の技法を受け継ぎ、時代の変遷の中ひたすら先人の陶情を心として研鑽に励んでまいりました。現在、三代・伸明も伝統を守りながら、時代に合った「用と美」の芸術性を求めて精進しています。

城島 伸明

小代焼 しろ平窯 熊本県荒尾市府本下25-3
TEL.0968-62-0538 FAX.0968-62-0538

小代焼
末安窯



楽しんでつくり、楽しんで使ってもらえる器を

小岱山の土にこだわり、自然の力を借りて作陶し続けています。器づくりはその人となりわかる仕事。作り手の物のとらえ方、考え方、生き方は全て器から滲み出てきますので常に真剣勝負です。それでも遊び心を忘れずに、楽しく作っていますので、楽しく使っていただきたいとおもいます。

末安 英介・洋介

URL <http://www.h3.dion.ne.jp/~shodal/>

小代焼 末安窯 熊本県荒尾市府本上1712-2
TEL.0968-68-0058 FAX.0968-68-0058

小代焼
太郎窯



手作業からひとつひとつ生まれるぬくもりの作品

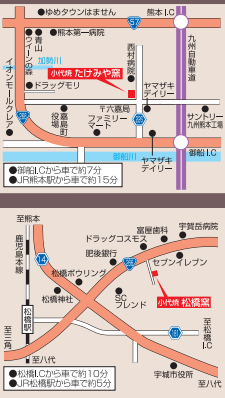
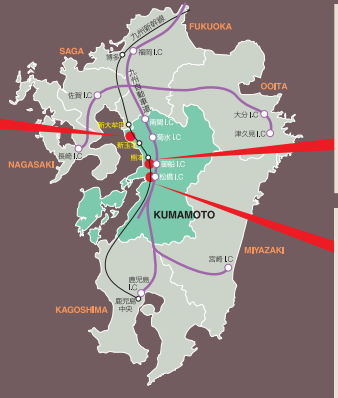
手づくりのあたたかさを大切にしたいと考え、作品づくりは全て手作業で行っています。また、こだわりとして自然の草・木灰や土石を材料にし、薪を使い昔ながらの登り窯で焼いています。

福田 安

URL <http://www2.silala.or.jp/taro-gama/index.htm>

小代焼 太郎窯 熊本県荒尾市府本上2560-17
TEL.0968-68-4817 FAX.0968-68-4817

ACCESS & INFORMATION



小代焼窯元の会事務局 TEL.0968-68-1623(末安案内)



国指定 伝統的工芸品 **小代焼**

しょうだいやき



小代焼

その起源は400年前に

小代焼は、熊本県の小岱山麓で約400年前から焼き続けられている九州を代表する「陶器」です。
 その起源は、豊前藩・小倉城主、細川忠利の熊本移封にともなって、豊前上野で作陶をしていた陶工源七(北小路家初代)と八左衛門(葛城家初代)が小岱山麓に移り住み、窯を開いたことに始まります。
 釉薬の深い美しさと自由奔放な流し掛けの模様は素朴な味わいがあり、ふだん使いのうつわとして暮らしの中で生きつぎ、その力強い作風は茶陶としても愛されています。
 現在、荒尾市を中心に12の窯元が、小岱山特有の陶土を原料とし古くからの技術・技法を現在まで継承しています。
 平成15年に国の伝統的工芸品に指定されました。

